

市長との約束 2023



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

世界農業遺産推進監

安部 祐輝

約束内容	世界農業遺産とSDGsの推進
達成目標	世界農業遺産については、フィールドミュージアム構想の推進、ブランド化の推進、人材育成の3本柱で推進を図るが、魅力を向上させ、活用することに力点を置き、農家や市民が多くのメリットを享受できるように目指します。 世界農業遺産と連動するSDGsについては、市民・企業等の積極的な関わりや行動を増やししながら、ネイチャーポジティブの推進を図ります。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	○世界農業遺産のメリットを拡大させるべく、ブランド認証農産物での東京ビッグサイトで商談PRを実施した。 ○環境を守りながら、企業の投資などの関わりを増すよう、市内での最初の挑戦として、NPO法人シナイモツゴ郷の会が保護活動を進める「ため池群」の「自然共生サイト」への申請を協力して行い、東北で3番目に無事認定された。 ○東アジア遺産学会（中国、浙江省）での発表や、農林水産省の多面シンポジウムで講演し、大崎耕土のPRを行った。

約束内容	グリーンな農畜産業の振興
達成目標	持続可能な農畜産業へ向け、みどりの食料システム戦略とも協調し、環境負荷低減及びスマートな「グリーンな栽培」を推進し、DXを活用した地産地消の推進や、中山間地での特産農産物の実証、さらにササニシキ生誕60年を契機とし、ささ結のPRを促進し、ササニシキ系の復権を目指します。また、流域治水に関し、グリーンインフラとして田んぼを活用した、田んぼダムを一層推進します。
達成度	A 達成目標を上回る ★★★★★
達成状況	○環境配慮、有機農業推進に係り、労力低減も図るグリーンな栽培に対し、2年目として、アイガモロボ、スマホ水管理システムの実証を実施した。 ○中山間地のワサビ栽培実証を進め、今年が初収穫、出荷となる。 ○ササニシキ60周年については、新米フェア、ささ王決定戦など、記念品なども用意し、初めて東大と連携したイベントの実施や、古川駅前のササニシキ像の改修も実施した。 ○田んぼダムは、本年約970ヘクタールとなり、来年は鳴瀬川流域でも強化し推進する。

約束内容	有害鳥獣対策と、ジビエの郷づくりの推進
達成目標	有害鳥獣対策を強化し、廃校を活用したジビエ利活用等施設を令和5年7月まで完成し、本格稼働及びジビエ食肉の秋の販売開始を目指します。また、イノシシの捕獲や解体等の研修実施のほか、鳴子温泉郷や飲食店、加工業者等への販路を確保しながら、ジビエの魅力ある食を普及します。
達成度	A 達成目標を上回る ★★★★★☆
達成状況	R5年8月末に、施設の完成報告及び見学会を開催しPRを行った。10月16日付で放射能に係るイノシシ肉の国の出荷自粛指示の一部解除をいただき、豚熱に係る衛生対策、全頭検査体制を県・国との調整を終了し、12月末に衛生管理マニュアルが完成し、1月4日から施設を稼働した。 また、2月には大崎ジビエの東北初での試食会を実施でき、今後はジビエハンターとの連携を強化し、食肉の在庫を確保したい。

約束内容	ゼロカーボンへの林業振興の推進
達成目標	大崎市森林ビジョンに基づき林業振興を推進し、カーボンニュートラルの実現に向け、森林環境譲与税を活用した森林整備の推進や、市民の森づくりを拡大し、さらなる森林保全の理解醸成を図ります。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★☆
達成状況	市民の森づくりを、参加対象を広げ、また、新たな市有林の主伐を行い、植樹エリアを確保し、多くの人に森林の大切さを理解してもらう「おおさき未来の森づくり」を実施した。約160人が参加し植樹を行った。今年は台東区の森づくりも併せて準備する。 市有林内の保安林無許可伐採があり、市有林管理の強化が必要な中、管理体制を強化するR6当初予算編成を行った。